

三方町黒田地区 - 水路・水田 -



コンクリート水路に徐々に泥がたまって生物がすめるようになった水路



ダルマガエルのすむ土水路

選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）（ダルマガエル）の県内の代表的な生息地である ・県RDB種が多種確認されている
<p>県レッドデータブック掲載種数： 16種（面積約130ha）</p>	
自 然 の 概 要	<p>かつての湿地帯であるため、常に水と泥がたまっている水路には、ダルマガエルが生息し、県内の代表的な生息地になっています。またチュウサギやサシバなどの鳥類が、水田や水路を餌場として利用しています。</p>
保 全 す べ き 主 な 環 境	<p>小川（土水路）、広い水田（水田および休耕地）</p>

該当地の位置



里の生き物紹介 ダルマガエル（カエル目アカガエル科）

大きさはトノサマガエル位で、模様も良く似ています。しかし、トノサマガエルのように背骨に沿って線がないのが特徴で、お腹が丸くふくらんでいます。

すみかは水田や水路で、6月ごろに産卵します。この頃には、中干しのために水田で干上がるオタマジャクシが多いのですが、水路に移動して育つ個体もあります。このため、移動した先の水路が土水路であったり、水が途切れないことがダルマガエルの生息を助けます。

日本では、四国、中国、近畿、東海、中部など西日本を中心に分布していますが、環境が悪化し、すでに絶滅した生息地も多くなっています。県内では、三方町から小浜市付近で確認されていますが、生息地はあまり多くありません。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ダルマガエル
県域絶滅危惧 類
水田、水路に生息



タマシギ
県域絶滅危惧 類
湿田、ハス田、セリ田や
生活排水が流れ込む休耕
田に生息



メダカ
県域絶滅危惧 類
池と沼、河川下流部の岸
辺、水田とその用排水路
に生息



チュウサギ
県域準絶滅危惧
平地の水田、浅い水辺、
水辺近くの草地に生息



マルタニシ
県域準絶滅危惧
山麓の整備されていない
水田や休耕地、池沼に生
息